

原文

正教会とカトリック教会が一つのミットを構成したかのように誤解するおそれのある表現である。

国家の支配は宗教別支配体制（ミット制）であり、非イスラームは各々の宗教、宗派別に三つの自治組織を構成した。ギリシア正教会を頂点とする正教会とカトリック教会、アルメニア教会を頂点とするキリスト教の東方諸教会、そしてユダヤ教会である。各大主教や長老（ラビ）がオスマン政府に直属し、^{のうぜい}納税などの義務を負ったが、各ミットは自治権をもっていた。

修正文

帝国では宗教別支配（ミット^{millet}制）を施行した。イスラーム教徒のミットはウンマであり、非イスラーム教徒のミットは、ギリシア正教会、アルメニア教会そしてユダヤ教会の三つに分けられた。各大主教や長老（ラビ^{rabbi}）がミットの長としてオスマン政府に直属し、^{のうぜい}納税などの義務を負っていたが、各ミットは原則的に自治権をもっていた。